

叙勲

瑞宝双光章 消防功労



久武 恵一さん
70歳 赤岡町

昭和32年に赤岡町消防団に入団して以来40年の長きにわたり、消防使命の達成のため地域住民の安全と消防の発展に尽力されました。また、赤岡町議会議員、交通安全協会、農業委員、相撲連盟などの要職を歴任し、現在も多方面で活躍しています。

「小さい頃から消防車に乗ったり、缶寄せ競技を見たりしてきたことで、消防への愛着心が生まれ、消防団へ入団するきっかけとなった」と久武さん。昭和47年に発生した繁藤災害では、懸命な救出活動の中、「自然の猛威に驚愕した」と当時を振り返ります。

また、常に人とのつながりを大切にしていたことで、多くの仲間を支えられ、自分を育ててくれたことへの感謝の気持ちを忘れないということです。現在は、長年の消防知識と経験を活かし、自主防災組織の確立など、地域防災の第一線で活躍しています。

旭日双光章 地方教育行政功労



大前 岩保さん
75歳 赤岡町

昭和51年に赤岡町教育委員に選任され、平成5年から町村合併までの12年間は教育委員長として29年間にわたり、町の教育・文化の発展・向上に多大の貢献をされました。また、長年、保護司・民生委員・社会福祉協議会などの要職を務め、現在も住民の立場にたった地域福祉、更正保護活動に尽力されています。

大前さんの活動の場は多種多様。教育・福祉・防犯と、事柄に関わる立場が異なっても、問題の核心は「人の心」にたどり着くと言われ、身に染みて組織や地域のネットワークが大切だと感じるそうです。また、漁師としての経験から「若杉こども会」で気象について教えたことも。雨や嵐が来ることを知らせる「雲」の見方は、子どもたちに生きる知恵と力を付けてほしいとの思いにもつながっています。

「受賞は周りの人の支えがあったからこそ。体調の許すかぎり何かの役に立てれば」と変わらず地域を見守り続けています。

褒章

藍綬褒章

松山 政子さん
68歳 香我美町



昭和59年に香我美町婦人防火クラブ委員長に任命され、62年に香南消防組合婦人防火クラブ連合会長、平成16年から高知県婦人防火クラブ連絡協議会長を務められています。27年間にわたり防火活動に貢献され、現在もそれぞれの役職で活躍しています。

「昔は火の不始末が多く、隣近所で火事が起こったときは腰が抜けるほど怖かった」と語る松山さん。その経験から昭和57年に「家庭からは火事を出さない」をモットーに地元消防士の奥さんたちで「香我美町婦人防火クラブ」を設立。以来27年間、女性の視点で防火活動に携わってきました。

特に就学前の子どもたちに防火教育を熱心に行い、毎年、消火訓練や消防車の写生会などを実施しています。「三つ子の魂百まで。この活動を保護者にも理解してもらい、家族で防火について考えてもらうきっかけに」と呼びかけています。

今の課題は、住宅用火災報知器の設置促進。多くのクラブ員に支えられながら、活動を続けています。

春の叙勲

褒章

4月29日付、各分野で優れた功績を残した春の叙勲受章者が発表されました。香南市では大前岩保さん(赤岡町)が旭日双光章を、久武恵一さん(赤岡町)が瑞宝双光章を受章され、褒章では松山政子さん(香我美町)が藍綬褒章に輝きました。

郵便配達員 高齢者見守ります

高齢者見守り業務スタート!

5月18日(月)野市町の郵便事業株式会社高知東支店(旧野市郵便局)で、高齢者見守り業務の出発式が行われました。この業務は、同支店の配達員17人が野市地区の75歳以上の独居・高齢者世帯364世帯を対象に健康状態や困り事などを試験的に調査するもので、約半年かけて実施。その調査結果から、市が必要に応じてきめ細やかなサービスを提供していくものです。

この日、訪問を受けた住民は「親しみがあって安心して話せる」と喜んでいました。



防災力強化へ技磨く

物部川・仁淀川水防演習

5月24日(日)物部川河川敷で、「物部川・仁淀川水防演習」が国土交通省などの主催で行われました。

梅雨入りを前に消防団や自衛隊、県警など54団体、約900人が参加し、水防技術を磨くとともに防災力や連携の強化を図りました。演習では、地元消防団による土のう作りや、シートで堤防の掘削や漏水を抑える水防工法の実演。また、ヘリや船艇による人命救助訓練などが行われました。会場の見学者らは、本番さながらの緊張感ある迅速な演習に感心していました。



あじさい街道いつまでも…

のいちあじさい街道を守る会



4月28日(火)野市町父養寺と西佐古にまたがる「のいちあじさい街道」で、今年2月に結成された「のいちあじさい街道を守る会」が、雑草対策として針葉樹のチップを約100mの区間に敷き詰めました。また、5月20日(水)には、同会の呼びかけで佐古社会教育学級の20人が、草引き作業を行いました。作業を終えた参加者たちは「手入れしたアジサイをみんなに見てもらいたい」と満足そうでした。たくさんの人の協力で行われたあじさいは6月上旬が見ごろです。

市民の交流の場を大切に!

のいちパークゴルフ愛好会「清掃活動」



5月17日(日)のいちパークゴルフ愛好会の会員が、野市ふれあい広場パークゴルフ場とその周辺の清掃や花植えを行いました。当日は、朝からの雨にもかかわらず84人の参加があり、清掃後に行ったミニ大会では「草を引いたき、ボールの転がりが違う」と、きれいになったコースで会員同士の親ばくを深めていました。

また、事務局長の佐々木弘起さんは「雨にもかかわらず、こんなに多くの人が参加してくれて本当に良かった」と会員に感謝していました。